

平成30年3月26日

## 「地方創生」推進への取組み

### **匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業の実現に向けて協力！**

～ 認定こども園（子育てゾーン）が竣工 ～

株式会社 千葉興業銀行（頭取 青柳 俊一）は、当行取引先の社会福祉法人九十九里ホーム（理事長 井上 峰夫 以下、同法人）および当行業務提携先である株式会社ローカルファースト研究所（代表取締役 関 幸子 以下、同研究所）と協力し、匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づくまちづくり支援を行いましたのでお知らせいたします。

具体的には匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業（以下、本事業）を実現すべく、匝瑳市から地域再生推進法人として認定された同法人と、同研究所、当行が協力し、飯倉駅前地区まちづくり協議会の運営に参加して事業計画の策定支援を行いました。1年にわたる協議会会合を通して地域住民の方々と話し合い、多面的なアイデアを盛り込んだ事業計画書を作成することができました。

本事業は、現在、計画段階から実践段階に入り、具体的な施設やサービス機能の整備へと進んでおります。このたび、子育てゾーンに認定こども園が竣工いたしました。今後、社会福祉ゾーンに特別養護老人ホームが、まちなか居住ゾーンにはサービス付き高齢者向け住宅が、交流ゾーンには地域交流拠点施設が、順次建設整備される予定です。これらにより、匝瑳市の人口減少抑制や事業に関わる新たな仕事と雇用を創出することが期待されます。

本事業において当行は、金融支援のみでなく、協議会の運営および協議会委員として参加し、幅広いコンサルティング支援を行いました。

当行は、これからも地域経済の発展ならびに地方創生に寄与する「コンサルティング・バンク」の確立実現を目指して取組んでまいります。

#### 【 生涯活躍のまち（日本版CCRC）構想 】

地方創生の観点から、中高年齢者が希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、地域の多世代の住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる「生涯活躍のまち」づくりを目指す。

※CCRC（Continuing Care Retirement Community）とは

「高齢者が健康なうちから居住し、必要に応じて介護や医療を受け、人生の最後までを過ごせる生活共同体」のこと。日本版CCRCの名称は「生涯活躍のまち」。

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部HP内資料より抜粋

～ご参考～

【**匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業に係る地域再生計画について**】 匝瑳市の資料より抜粋

#### 地域再生計画の概要

匝瑳市飯倉及び飯倉に隣接する飯倉台を対象に、エリア型の生涯活躍のまちの実現を目指ものであり、具体的には、JR東日本総武本線飯倉駅に隣接する旧ショッピングセンター跡地に、住まいや医療、介護、生活支援等のサービスが一体的に提供される環境を整備し、また、地域交流拠点施設を中核として、年齢や障害の有無にかかわらず、子どもから高齢者まで、多世代にわたり交流し、協働することのできる仕組みを構築し、誰もが生涯にわたって活躍し、生涯住み続けたいと思うまちづくりを進めるもの。

施設機能	設置施設・サービス（※計画であり今後の実態とは異なる場合あり）
子育てゾーン	認定こども園、一時預かり保育、放課後児童クラブ等
まちなか居住ゾーン	サービス付き高齢者向け住宅、訪問看護ステーション、地域食堂、お試し居住等
高齢者福祉ゾーン	特別養護老人ホーム、短期入所生活介護
交流ゾーン	農産物直売所、暮らし相談窓口、生涯学習施設、サテライトクリニック

※事業用地と施設は同法人が整備するが、同法人が行う事業は一部のみ。その他の事業は他の事業者の参画を募る。

以 上